

"달도가 우리 가정을 지켜줬어요"

(2010 이상 문학상 작품집, 대상 수상 작가 자선 대표작)

2013.07.21 村山 芳行

【パク・ミンギョについて】

1968年に울산で生まれる。2003年に長編『지구영웅전설 (地球英雄伝説)』で문학동네작가상을受賞し、作品活動を始める。한겨레문학상, 이효석문학상, 황순원문학상을受賞。短篇集に『카스테라 (カステラ) (2005)』『더블』(ダブル) (2010)』がある。

長編小説には『삼미슈퍼스타즈의 마지막 팬클럽 (サンミ・スーパースターズの最後のファンクラブ) (2003)』『핑퐁 (ピンポン) (2006年)』『죽은 왕녀를 위한 파반느 (亡き王女のためのパヴァーヌ) (2009)』がある。

エッセイには『소설가로 산다는 것 우리 시대 작가 17인이 말하는 나의 삶 나의 글 (2011)』がある。

彼の小説運用方式は漫画的構成法であり、宇宙人らしい発想であると評される (김윤식 "우리 시대의 소설가들" 강 2009)。

【登場人物】

・俺 (나) : 冴えない車販売のセールスマン。ミド自動車ソウル・京畿道総括特殊営業部部长だが、半年ほど前に契約職に転落した。太っており、年齢は五十歳を越える。キム・サンホによると、営業所でのアダ名は"미친 문트"だった。문트는ここでは黒人を指すので、日本語に直すとすれば狂った黒人、またはプツンブラックアフリカンなどが考えられる。

・メガネ野郎 (안경잡이) : ソヌビルディングで仕事をしている男。《俺》にコンビニで代理受け

取りをさせるなど、非常識な人間。

・妻 (마누라 엄마) : 《俺》の妻。無神経な言葉で主人公を激怒させる。しかし主人公が飛び出した後は家の掃除をし、(息子を通じて主人公に)生きていればそういう時もある、と諭す。

・ビョンテ (漢字では炯太 병태) : 《俺》の息子。勉強がまあまあできて、今年になって地方(ソウル周辺に位置する)の大学に入った。家を飛び出した父親を探しに行くなど、気遣う様子を見せる。アルバイトをしており、父親がチムジルバンに行くための金を貸す。

・キム・サンホ (김상호) : 《俺》と一緒にミド自動車の営業で働いていた。同じ商業高校の出身で、五年前に会社を出た。別の会社でも車の営業をしているのだが、仕事振りは冴えないらしい。以前に月へ向かい、販売ルートの開拓に成功したらしいが、その割にはチムジルバンに住んでいる。主人公は彼の言葉によって火星へと向かう。

・チョ・ドゥチュル (조두출) : 会社のマポ店での支店長。《俺》にはメチャクチャに酷評されている。火星に出発する主人公にキャロットを渡す。

・ジョー (조) : 火星で出会った黒人。アンディーという息子がいるらしい。《俺》と同じく、芳しい環境では暮らしていない。ヤンキースの帽子を被っている。最初に出身はニューヨークと言ったが、別れ間際に実はピッツバーグだと語った。

・火星人の奥様 (사모님) : 火星で出会った巨大な生物。性別は女性。NASAによる補償で金はあるが、《俺》には辛いと語った。夫と一年もしていないので欲求不満であり、主人公にキャロットを運転させ、それをティルドー代わりに使う。

・ジャンディおばさん (잔디엄마) : 主人公の下の階に住んでおり、妻と仲が良い。

## 【あらすじ】

夕方五時、《俺》がベンチに座って、食いそびれた昼飯のソーセージを食べながら行う回想から物語が始まる。《俺》は車の営業をしているが、半年ほど前から契約職に転落していた。その日も

ヨイドを回っていたが契約が取れず、マポの代理店に向かっても他の人間たちは彼に見向きもしない。仕方なく昼食を食べるため家へと戻ったのだが、そこで妻の一言によって激怒してしまい、家中の物を投げつけた後に家を飛び出す。

その後、《俺》がベンチで自分の人生について破滅的な事を考えていると、息子のビョンテが探しに来る。ビョンテとの話の中で、彼は自分が抱えている悩みや自分たちが最貧層に落ちたのではないかという心配、またビョンテに対する不満を話す。結局、家には帰らず息子から金を借り、彼はチムジルバンへと向かう。主人公は自分が家を出た本当の理由……妻の引き出しの中に棒タイプのディルドーが入っていたことを、息子には言えないままだった。

チムジルバンで風呂に浸かった後、《俺》はキム・サンホに会う。彼は最近ここに暮らしているのだった。一緒にわかめスープを食べ、塩部屋で汗を流しながら話をする。《俺》は自分が抱えている辛さについて語り、サンホは昔の主人公やチョ・ドゥチュルについて話をする。「死にたい」と漏らした《俺》に、サンホは火星に行くことを勧める。

翌朝、着替えた《俺》は営業所に向かい、チョ・ドゥチュルから苦戦している営業車『キャロット』を借りてカーナビに打ち込み、火星へと向かう。道中の彼は、サンホが月で車を売ったことを思い返す。火星についた主人公は恐ろしさを感じたが、車から降りてどうにか適応する。しかし火星の寒さや退屈さにあてられ、自分自身について考えるようになる。そこで出会ったのは黒人のジョーで、彼はジョーが自分の同類であることを察する。話をしたり歌をうたったりした後、ジョーと彼は別れる。

車の中で寝ていた《俺》は火星人に起こされる。対面した火星人はとても大きい、同時に女性であることを知る。なんとかして彼は車を売ろうとするが、そこで火星人が欲求不満であることを知る。車をディルドー代わりに使いたいと言いついた火星人を前に、彼は今すぐ帰りたかったが、しかし人生というものが「全くの無意味であることを知りながらも、危険を冒す……ロマンチストたちの臆病な核実験じゃないか」と考えつき、自慰行為の手伝いに乗り出す。キャロットを運

転することで彼はディルドーのように火星の中へと突入し、最終的に彼女は絶頂した。

《俺》が家に帰ると、すでに時間は午前零時を過ぎている。火星人とその友人たちが契約してくれたので、三枚の契約書がカバンの中に入っている。妻を起こすが、そこで肩が痛くなる。

## 【感想】

・序盤は笑いと悲哀が混ざった救いのないドラマに見えるが、途中で舞台が火星に飛んだので、やや落差に戸惑いを覚える。このストーリー展開でもじゅうぶん主人公は救われていて良いのだが、やや唐突な路線変更にも思えた（もっとも、そうした意外性を与えることが作者の狙いかもしれないが）。

・火星についてであるが、この作品では本来の火星から意味を減らし、『サバイバルするのに適当な場所』ぐらいの意味しか当てはめていないように感じた。しかしそれであれば、地形的条件や設定を組み立てることを鑑みても、別に水星や海王星に飛んでも差し支えがないように思われるが、韓国では火星について特別な意味があるのだろうか。しかし、火星という離れ技はとてもおもしろかったし、そこから驚くようなハッピーエンドを作り出した技術は良かったと思う。また、作品内の世界では、「食うに困った人間でも生き抜く意思があれば宇宙へと飛んで、世界を開拓してサバイバルすることができる」という事も考えられるのではないか、と思った。

・会話シーンには笑える要素だけでなく含蓄がある。個人的にはビョンテとの会話（自分の人生を賭けた存在が、単なるロクデナシだと知った時のショックなど）やサンホとの会話（家族にも言えず、自分と同世代だからこそ吐き出せる言葉（글쎄 죽고 싶다니까））が面白いと思った。

・疑問だが、62ページで、なぜサンホは主人公にチンユが勃つかと訊いたのか？ 物語の都合と言えばそれまでだが、あるいはサンホも似た問題を抱えているのでは、と考えた。そこから発展させて、あるいは主人公と同じ属性（生活に困る、宇宙に行く）を持つと考えるなら、同じ問題を抱えていたが、彼も宇宙でそれを解決したと取ることもできる。その場合、サンホは月の生物

と事に及んだのかもしれない。そうした線で考えてみると、あの作品内ではそうした者が何人もいるのかもしれない。

#### 【作品から示唆される事・読み取れる事】

- ・《俺》の独白から来る、金が無い者同士が家族になり、共に暮らすことの悲哀。
- ・食うことに困っても生き抜くという意味があれば、車に乗って宇宙に行く事もできる。
- ・火星人と人間の構図から、金を持つ火星人と金を持たない人間の図式も描けるように思われる。

火星人の象徴としては、金を得る事によって巨大化するが(贅沢さや豊満さの現れだろうか)、結局は金だけあっても連れ合いと関係を結ぶこともできず、結果的に辛さを抱え込むということ。もともと《俺》は最貧層を表しているなので、この短編では金を持つ者の姿と金を持たない者の姿、その両極端さを見出すこともできる。結果的には、ビジネスやディルドーを通じてこの両者が通じ合っている。そして過程はとにかく、両者は共にハッピーエンドを迎えている。

・ジョーと二人がうたった歌については、『貧困はグローバルなものだ』を体現するための要素であるように考えられる。そのため貧困に関する歌も、貧困そのものがグローバルであるからジョーは知っている。ここでジョーは《俺》が歌を知っていることに驚いているが、これは《貧困というものがローカルではなくグローバルなものである》事を改めて認識した驚きのように思われる。

また、貧困を通じて難しい境遇に置かれた二人の男が意気投合するようになる、という形式には、何かしら皮肉なものが感じられる。

しかし、ジョーは主人公のように報われたのかどうか疑問が残る。ただ主人公と出会って話をし、帰っただけのようだ。あるいは彼も火星人と商談を結べたのだろうか？

・この作品は、もともとはジョン・グッドマンへの作品だったが、途中で小説家のチョン・ミョンガン(천명관)のために書くことにしたらしい(박민규 "더블 Artbook" 창비 2010)。

【時事・難しい用語について】

41ページ：《天下力士》……ソーセージ。詰め合わせだと値段はおよそ5980ウォン。

43ページ：니미럴→니미 렐 と分けて書くが、니미は너희 엄마を方言として言った物、렐は육시(戮屍)렐であり、이미 죽은 사람의 시체에 다시 목을 베는 형벌을 가함という意味となる。

言葉を縮めると、『お前の母ちゃんの死体の首をもう一度絞める罰を食らわせるぞ』と云った、英語の悪口を思わず凄まじい意味となるのだが、主人公の口ぶりは非常に軽い上に多用するので、なかなかそういう風に聞こえない。

47ページ：예는 늦둥이……예능계에 뒤늦게 합류한 부류を指す。ただしこの場合、以前から芸能界に入っていた芸能人(年を取っている)が遅咲きとして有名になるのか、何らかの理由で芸能界デビューが遅れた若い人が有名になるのかは不明。

48ページ：늦둥이……나이가 많이 들어서 낳은 자식を指す。ここでは二つを絡めた言葉のギャグがある。

48ページ：내가 배운 도둑질……도둑질は、泥棒することの他に[늦게 배운 도둑이 날 새는 줄 모른다][도둑질도 혼자 해 먹어라]と云った、仕事や特技などを言い表す場合があるため、このケースでは能力や仕事にひっかけた言い方であると考えられる。

48ページ：지랄……마구 법석을 떨며 분별없이 하는 행동을 속되게 이르는 말을指す。

日本語に直すならば、『無様な姿を晒す』『馬鹿を振りまく』が考えられる。

50ページ：五分待機……航空戦用語。緊急発進をする時を考えて、事前にパイロットをいつでも待機できるよう座らせておくこと。

言葉の実践例はここにあたる ([http://japanese.joins.com/article/j\\_article.php?aid=135925](http://japanese.joins.com/article/j_article.php?aid=135925))

『「いつでも反撃」 ロケット・KF-16・駆逐艦が「5分待機」』 中央日報日本語版 2010.12.20)

오 분 대기조の場合は『五分待機組』と意味がとれるが、普通の言葉で使う時は、「常に忙しい」などの意味で用いる。

52ページ：契約職に転落して……ニュースには、判事が再任用試験に落ちて、非正規職として就職したケースがある。

([http://www.hani.co.kr/arti/society/society\\_general/518508.html](http://www.hani.co.kr/arti/society/society_general/518508.html))

"판사, 10년 계약직 전락…비정규직 아픔 절감" 한겨레뉴스 2012.02.10)

また銀行から退職した男性が、同じ銀行に契約職員として再就職したケースも。

(<http://news.hankooki.com/lpage/economy/201201/h2012010304595021520.htm>)

"주인 바뀐 저축銀 직원들 '감원태풍' 직면" 한국일보 2012.01.03)

主人公が陥ったケースについては詳しい説明がないものの、営業成績が芳しくないことから、結果を出せない結果として落とされたケースのように思われる。

53ページ：용산이 그리 먼 산이 아니란다……実際の事件に言及したものであると思われる。

2009年1月20日、ソウル市龍山区漢江路2街再開発4区南一党で座り込みをしていた撤去民(軍事上、もしくは行政上や再開発などの理由で住む家を追われた人々)四十名が警官隊と衝突し、撤去民側が五名、警官隊側で一名の計六名が死亡した。二十七名が怪我をした。

事件当時は、警察は強制鎮圧のために建物の屋上（四階に位置する）へとクレーンで特殊部隊十三名を輸送していたが、屋上五メートルの高さにある展望台へと陣取っていた撤去民らが火炎瓶を投げつけ抵抗した。しかし火炎瓶が、長期の立てこもりに使用される予定だったらしいシンナー七十本に引火し、炎が立ち上がった。狭い屋上には撤去民らと警察特殊部隊らのごった返していたため、多くの死傷者が発生したと思われる。

( <http://www.mediatoday.co.kr/news/articleView.html?idxno=76593>

"'권력의 나팔수'와 여성앵커 사이" 미디어오늘 2009,01,20

[http://www.pressian.com/article/article.asp?article\\_num=60090121005905](http://www.pressian.com/article/article.asp?article_num=60090121005905)

"용산 참사? 게으른 놈 죽는 것은 모두 다 제 탓이지!" 프레시안 2013,07,19

<http://www.pdjournal.com/news/articleView.html?idxno=20031>

"공안통치·과잉진압 v.s 과격시위·화염병" PD저널 2009,01,21 )

59ページ：NASA에선 곧 달에 충돌시험을 할 거래요……2009年10月5日にNASAでは衛星エルクロス（LCROSS）を用いて月に衝突実験を行なっている。なおこの実験の結果、舞い上がったチリの中に水分が検出されたようである。

( <http://jp.reuters.com/article/worldNews/idJPJAPAN-12471520091115>

『NASA、衝突実験により月面から水を検出』ロイター、2009,11,15 )

( [http://www.astroarts.co.jp/news/2009/10/05lcross\\_target/index-j.shtml](http://www.astroarts.co.jp/news/2009/10/05lcross_target/index-j.shtml)

『10月9日、エルクロスが月面衝突実験』AstroArts、2009,10,05 )

56ページ：원튼네 가족……邦題は、『わが家は11人』。1972年から81年に放映されたドラマ。映画「スペンサーの山」の原作者アール・ハムナー・ジュニアの自伝的要素の強いファミリー・ドラマ。1930年代の恐慌時代から40年代までの激動の時代を生き抜く大家族を描いている。



バージニア州に住むウォルトン家は父親のジョンと母親オリヴィア、祖父母と子供7人の11人家族。彼らは貧しいながらも助け合い数々の困難に立ち向かう。

( [http://www.allcinema.net/prog/show\\_c.php?num\\_c=236410](http://www.allcinema.net/prog/show_c.php?num_c=236410)  
allcinema )

56ページ：심슨 가족……邦題は『ザ・シンプソンズ』。マット・グレイニングが創作したアメリカのテレビアニメシリーズ。アメリカ・FOXテレビで、1989年の放送開始から500話以上が放映されており、アメリカアニメ史上最長寿番組として知られ、2009年には20周年を迎えた。

( <http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%B6%E3%83%BB%E3%82%B7%E3%83%B3%E3%83%97%E3%82%BD%E3%83%B3%E3%82%BA>  
日本語版wikipedia )

たまにCCレモンなどのCMに出てくる黄色いアニメキャラがいるが、あの家族である。

57ページ：에라잇……에라의語尾を引き伸ばした単語のように思われる。意味は、생각을 단념하거나 무엇을 포기하려 할 때 내는 소리.

에라잇の形式でも用いることがあり、

( [http://www.hani.co.kr/arti/specialsection/esc\\_section/497394.html](http://www.hani.co.kr/arti/specialsection/esc_section/497394.html)

"수입차 한 대 사볼까? 꼭 외제차여야 해?" 한겨레뉴스 2011.09.22 )

( 記者が中学生の頃、親戚に金持ちのおじさんがおり、その人物が高級車を持っていた ) “이거 타고 드라이브 갈 거야.” 친구들에게 자랑을 해냈는데 철석같이 약속한 부자 아저씨는 누나들만 태우고 드라이브를 가버렸다. “에라잇 ( 傍線は筆者 ), 여자만 좋아하는 영감탱이 같으니.” 홀로 남은 나는 배신감에 몸을 떨었다.

などがある。

59ページ：개뽀……俗語だが、意味は별 볼 일 없이 하찮은 것을 경멸하는 태도로 속되게 이르는 말. のように思われる。

60ページ：소금방……塩が敷かれたチムジルバンの部屋。体の老廃物を排出し、皮膚炎やアトピー、神経痛に疾患を治療する効果がある。

( [http://japanese.visitkorea.or.kr/jpn/TE/TE\\_JA\\_7\\_5.jsp?cid=791619](http://japanese.visitkorea.or.kr/jpn/TE/TE_JA_7_5.jsp?cid=791619)

韓国観光公社株式会社 サイト 2009,09,02 )

63ページ：벼멸구……カメムシの一種である。名前はヨコバイ。

64ページ：천자문……千字文を指す。子供に漢字を教えるために用いられた漢文の長詩で、千もの異なった文字が使われている。

( 日本語版Wikipediaより )

65ページ：캐럿：ミドで販売された最高級セダン。ネットでは発見できず、そもそもミド自動車が架空の存在と考えられるので、こちらも架空の自動車のように思われる。

66ページ：박근혜……綴りが同じなので、2013年現在、大韓民国の大統領本人だと思われる。作品がはじめに発表されたのは『현대문학』2009年11月号だが ( 박민규 "더블"장비 2010 )、当時のパク・クネはハンナラ党で議員だった ( n a v e r の人物検索による )。

72ページ：앤디야 내 애들아~から、니미 씨팔 가정환경 조또まで。

タイトルは영자송で、婦女子らの哀歡を込めた《口伝歌謡》のカテゴリに入る。ジョーが歌っているのは替え歌だと思われる。80～90年代の最中に、大学でとても流行った歌らしい。内容は、街の明かりの中で、自分の希望を見つけられなかった絶望を込めたもの。

ビデオとしてアップロードされてもいるが、このビデオが当時の歌をそのまま収録したものかは不明。

( [http://www.ohmynews.com/NWS\\_WEB/view/at\\_pg.aspx?CNTN\\_CD=A0001361036](http://www.ohmynews.com/NWS_WEB/view/at_pg.aspx?CNTN_CD=A0001361036)

"영자야 내 딸년아, 몸 성히 성히 성히~" ohmynews 2010.04.09 )

( <http://blog.daum.net/summal54/215>

"영자 송" 설령`~~일지라도~ 2013.03.22 )

#### 歌詞

영자야 내 딸년아

몸 성히 성히 성히 자알 있느냐?

서울에 있는 이 아빠는 사장님이 아니란다

(ohmynewsでは、이하 '추임새' 부분은 가사심의 관계상 생략とあるが、別のサイトでは歌詞が掲載されている。

<니미씨팔 가정환경 조또>가추임새の部分に入るようである)

서울에 있는 이 아빠는 사장님이 아니라서

광화문하고도 한쪽판에서 싹싹대는 청소부란다.(추임새)

영자야 내 동생아

몸 성히 성히 성히 자알 있느냐?

군대에 있는 이 오빠는 장교가 아니란다.(추임새)

군대에 있는 이 오빠는 장교가 아니라서

38선 하고도 철책선에서 뽀뽀기는 군바리란다.(추임새)

영자야 내 동생아

몸 성히 성히 성히 자알 있느냐?

서울에 있는 이 언니는 여대생이 아니란다.(추임새)

서울에 있는 이 언니는 여대생이 아니라서

청계천 하고도 지하공장서 뽀이치는 공순이란다.(코러스)

-'영자송' 중에서 ( 歌詞の引用は上サイトから )

( <http://www.youtube.com/watch?v=CETkysdPcys>

구전군가, 영자Song 병태와 영자 中 youtube 2011.09.10 )

75페이지 : 주문진 밤바다……강원도 강릉시 주문진읍だと思われる。イカや刺身がおいしい。

79페이지 : 에밀레 : エミレの鐘。統一神羅時代の771年に造られた鐘であり、聖徳太王神鐘とも呼ばれる。現在は慶州国立博物館に所蔵。音の長い余韻は世界のどの国の鐘にも探すことができない。エミレの鐘は、音を利用した通信手段の中で、韓国を代表する最も古い通信手段として、韓国人が自負する資産の一つ。国宝第29号に指定されている。( 徐正洙、森本勝彦『韓国の文化』ハルセボン、2006 )

81페이지 : 오메가3……오메가3 脂肪酸を表すと思われる。必須脂肪酸であり、これを摂取するとコレステロールを下げ、中性脂肪を下げ、高血圧予防などにもなる。オメガ3を摂取するため

のサプリメントも販売されているようである。